

ご 注 意

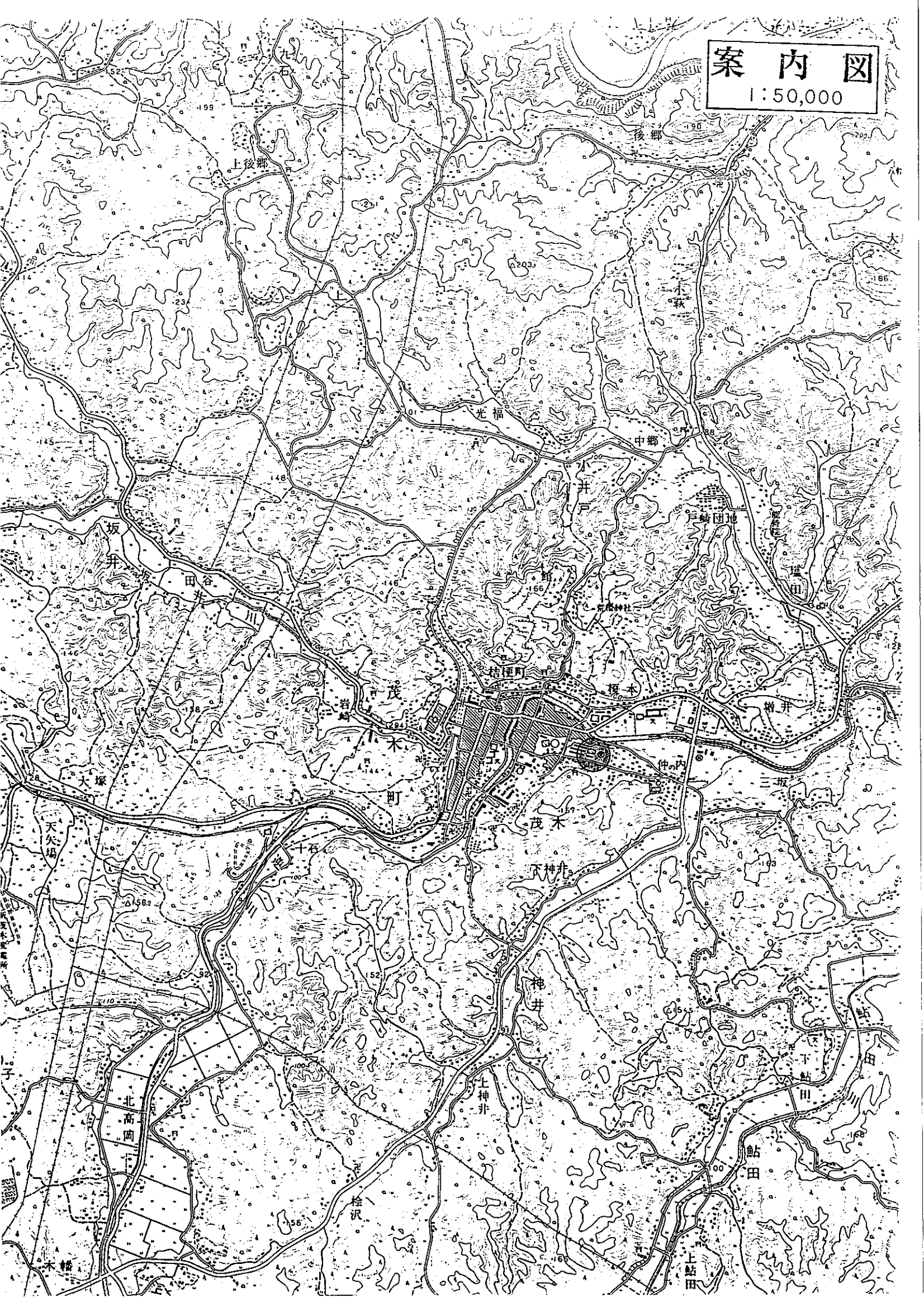
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

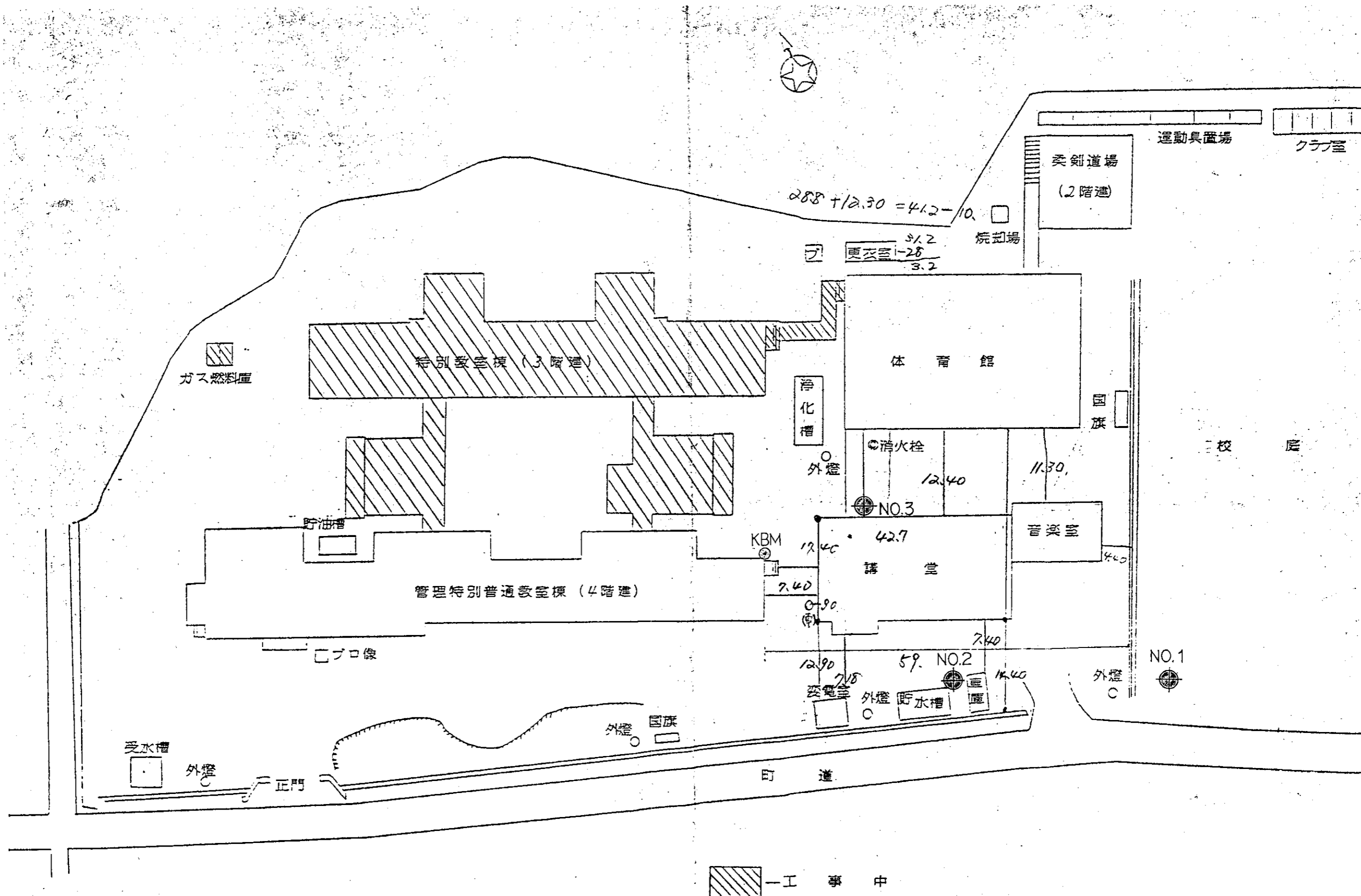
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

案内図
1:50,000



ボーリング孔配置図



ボーリング柱状図

調査名 茂木高校体育館兼生活指導室新築工事地質調査

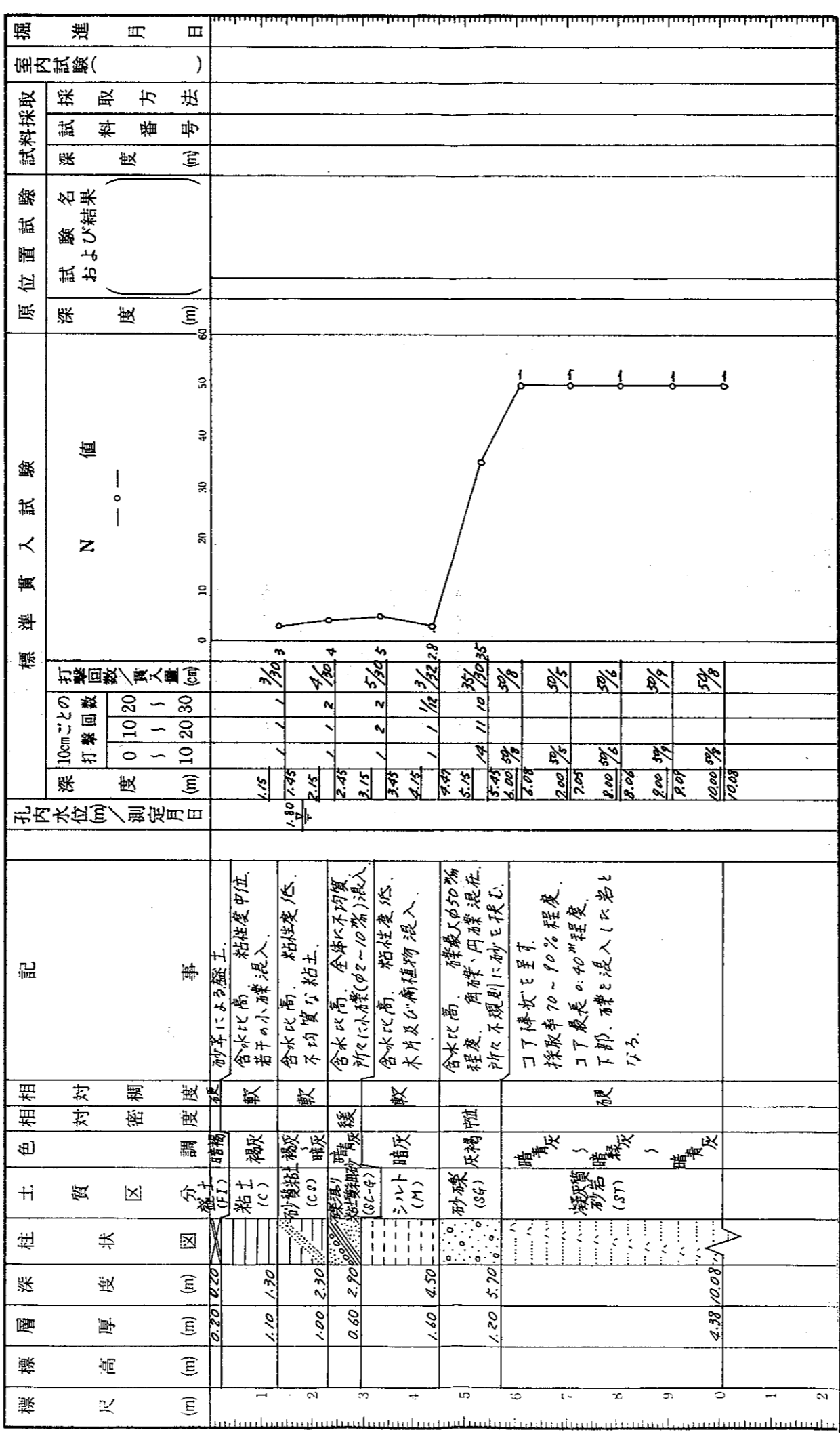
事業・工事名

JACIC 様式Ge201

ボーリングNo.											
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo. _____

ボーリング名	No. 1 孔		調査位置	芳賀郡茂木町茂木 288	
発注機関	栃木県土木部建築課		調査期間	昭和63年11月	
調査業者名	_____		現代理人	_____	
孔口標高	-1.29 m	角	180°上 90°下	方位	北 0° 270°西 90°東 180°南
総掘進長	10.08 m	柱状図	盤勾配	水平 0°	
標準貫入試験	ヤンマー NS75C		試験機	大野 ORV-100 型	
原位置試験	ヤンマー NS75C		ハンマニ	落下用具	
北緯	_____		ポンプ	_____	
東経	_____		トーン	_____	
ボーリング責任者	_____		トーン	_____	



凡例 柱状図および土質区分

区分	分類名	図例
土	礫 (G)	●●●●
	礫質土 (GF)	●●●●○
	砂	○
質	砂質土 (S)	○●●●
	砂質土 (SF)	○●●●○
材	シルト (M)	
	粘性土 (C)	
料	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
	高有機質土 (腐植土) (P)	

区分	分類名	図例
補	砂	○
	シルト質 (M)	
	粘土	
助	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
記	玉石混り (-B)	○●●●
	砂利、礫混り (-G)	○●●●
号	砂混り (-S)	○●●●
	シルト混り (-M)	
	粘土混り (-C)	
	有機質土混り (-O)	
	火山灰混り (-V)	
	異種混り (-Sh)	

区分	分類名	図例
岩	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
石	玉石 (B)	○
	浮石 (軽石) (Pm)	△△△
材	シラス (S)	△△△
	スコリア (Sc)	△△△
土	火山灰 (VA)	
	ローム (Lm)	
料	黒ボク (Kb)	
	ササ (WC)	
地	土 (Ss)	
	土 (FI)	
境	堆積物 (W)	

試料採取方法

- ① シンウォールサンブラーによる
- ② デニゾンサンブラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンブラーによる
- ⑤ () による

備考

ボーリング柱状図

調査名 茂木高校体育館養生活指導室新築工事地質調査

JACIC 様式Ge201

ボーリングNo.								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 2 孔	
発注機関	栃木県土木部建築課	
調査業者名	茅賀郡茂木町茂木 288	
孔口標高	0.17 m	調査期間
総掘進長	10.05 m	現場代理人
		コ定者
		ハンマー落下用具
		ポンプ
		ヤンマー NS75C
		大野 ORV-100型
		トンビ
		大野 OD60SS型

標尺	層厚 (m)	柱状	土質区分	色	相対稠密度	相対湿度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	室内試験		掘進月日
									深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値		試験名および結果	採取方法	
1	0.60	粘土質ローム	(F1)	暗褐	軟	約 45%	粘土質ロームで含水分高、線い	1.35	2	2/80	2					
2	0.90	粘土	(C7)	褐	軟	約 45%	含水分高、粘密度中位、下部砂分多量含有	2.15	1/80	1/80	1					
3	1.10	粘土	(C8)	灰褐	軟	約 45%	含水分高、粘密度弱、粘土と互層状に状化。	2.45	2/80	2/80	2					
4	0.55	粘土	(C8)	灰褐	軟	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	3.15	1	1/80	1					
5	0.65	粘土	(C8)	暗灰	中	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	3.45	2	2/80	2					
6	1.10	砂礫	(SG)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	4.45	2	2/80	2					
7	2.05	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	5.15	2	2/80	2					
8	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	5.45	2	2/80	2					
9	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	5.75	2	2/80	2					
10	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	6.15	2	2/80	2					
11	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	6.45	2	2/80	2					
12	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	6.75	2	2/80	2					
13	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	7.05	2	2/80	2					
14	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	7.35	2	2/80	2					
15	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	7.65	2	2/80	2					
16	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	7.95	2	2/80	2					
17	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	8.25	2	2/80	2					
18	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	8.55	2	2/80	2					
19	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	8.85	2	2/80	2					
20	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	9.15	2	2/80	2					
21	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	9.45	2	2/80	2					
22	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	9.75	2	2/80	2					
23	3.10	砂	(S)	暗灰	硬	約 45%	含水分高、粘土と互層状に状化。	10.05	2	2/80	2					

柱状図および土質区分

区分	分類名	図記号
土質	礫 (G)	
	礫質土 (GF)	
	砂 (S)	
	砂質土 (SF)	
	シルト (M)	
	粘性土 (C)	
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
	高有機質土 (腐植土) (Pt)	

区分	分類名	図記号
補助記号	砂質 (S)	
	シルト質 (M)	
	粘土質 (C)	
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混り (-B)	
	砂利、礫混り (-G)	
	砂混り (-S)	
	シルト混り (-M)	
	粘土混り (-C)	
有機質土混り (-O)		
火山灰混り (-V)		
貝殻混り (-Sh)		

区分	分類名	図記号
岩石材料	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
	玉石 (B)	
	浮石 (軽石) (Pm)	
	シラス (Si)	
	スコリア (Sc)	
	火山灰 (VA)	
	ローム (Lm)	
	黒ボク (Kb)	
アサ (WG)		
表土 (Sm)		
塚土 (FI)		
廃棄物 (W)		

試料採取方法

- ① シンウォールサンプリャーによる
- ② デニゾンサンプリャーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプリャーによる
- ⑤ () による

備考

ボーリング柱状図

調査名 茂木高校体育館兼生活指導室新築工事地質調査

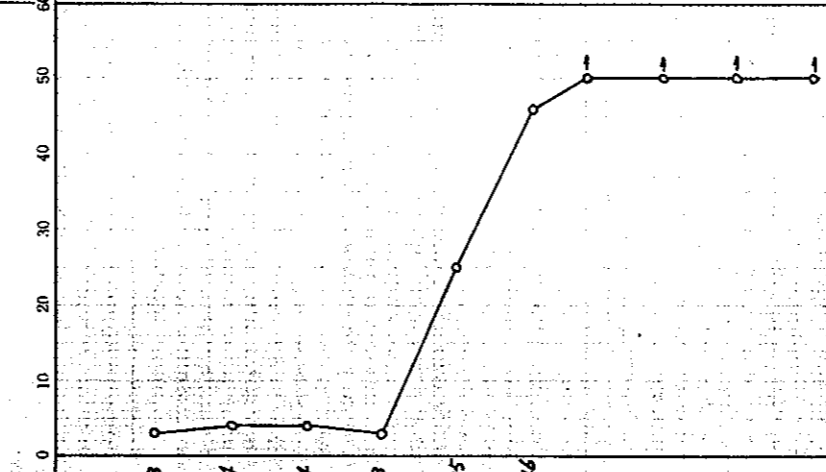
JACIC 様式Ge 201

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 3 孔		調査位置	芳賀郡茂木町茂木288		シートのNo.	
発注機関	栃木県土木部建築課		調査期間	昭和63年11月		北緯	
調査業者名			現代理人			東経	
孔口標高	-0.07 m	角	主任技師			ボーリング責任者	
総掘進長	10.08 m	180°上 90°東 0°南 270°西	使用機種	大野 ORV-100 型		トンビ	
		90°	エンジン	ヤンマー NS75C		ハンマー 落下用具	ポンプ
		0°					

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験		原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試験採取 方法	室内試験	掘進月日
									10cmごとの 打撃回数	打撃回数/貫入量 (kg)					
1	0.40	0.40		砂土 (FT)	暗褐色	硬	軟	含水比中位、碎石及コロム、 含水比高、珪質コロム、 含水比高、粘性度低、 若干の小礫混入。	1.15	3/30	3				
2	0.40	0.80		シルト質砂 (FT)	茶褐色	軟	軟	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	2.45	4/30	4				
3	0.60	1.40		シルト質粘土 (CT)	茶褐色	軟	軟	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	2.15	4/30	4				
4	2.10	3.50		シルト質粘土 (CT)	褐色	軟	軟	含水比高、粘性度中位、 若干の円礫及小腐植物混入。	3.45	4/30	4				
5	1.10	4.60		シルト質粘土 (CT)	青灰色	軟	軟	含水比高、粘性度中位、 若干の円礫及小腐植物混入。	4.15	3/30	3				
6	0.30	4.90		シルト質粘土 (CT)	灰色	硬	硬	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	4.65	25/30	25				
7	1.60	6.50		シルト質粘土 (CT)	灰色	硬	硬	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	5.15	10/8	7				
8				シルト質粘土 (CT)	灰色	硬	硬	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	5.45	13/20	20				
9				シルト質粘土 (CT)	灰色	硬	硬	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	6.15	25/30	25				
0				シルト質粘土 (CT)	灰色	硬	硬	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	7.45	45/60	45				
1				シルト質粘土 (CT)	灰色	硬	硬	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	8.75	50/6	6				
2				シルト質粘土 (CT)	灰色	硬	硬	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	9.05	50/4	4				
				シルト質粘土 (CT)	灰色	硬	硬	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	10.00	50/6	6				
				シルト質粘土 (CT)	灰色	硬	硬	含水比高、粘性度中位、 若干の砂を含む層を挟む。	10.08	50/6	6				



凡例

柱状図および土質区分

第1分類

区分	分類名	図記号
土質	硬	(G)
	硬質	上(GF)
	砂	(S)
	砂質	上(SF)
材料	シルト	(M)
	粘性土	(C)
	有機質土	(O)
	火山灰質粘性土	(V)
土質	高有機質土	(有機質土)
	高有機質土	(有機質土)
	高有機質土	(有機質土)
	高有機質土	(有機質土)

第2分類

区分	分類名	図記号
土質	砂	(S)
	シルト質	(M)
	粘土	(C)
	有機質	(O)
材料	火山灰質	(V)
	正石混り	(-B)
	砂利、礫混り	(-G)
	砂混り	(-S)
土質	シルト混り	(-M)
	粘土混り	(-C)
	有機質上混り	(-O)
	火山灰混り	(-V)
土質	異質混り	(-Sh)
	異質混り	(-Sh)

第3分類

区分	分類名	図記号
岩石	硬岩	(HR)
	中硬岩	(MR)
	軟岩、風化岩	(WR)
土質	玉石	(B)
	浮石	(浮石)
	シラ	(S)
	スコリア	(Sc)
	火山灰	(VA)
	ローム	(Lm)
	黒ボク	(Kb)
	マ	(WG)
	表	土(Ss)
	埋	土(FI)
廃	物(W)	

- 試料採取方法
- ① シンワオールサンプラーによる
 - ② デニソンサンプラーによる
 - ③ 貫入試験器による
 - ④ フォイルサンプラーによる
 - ⑤ ()による

備考